

第1章 世田谷のあけぼの 原始・古代

- I 世田谷の地勢 8
 - 1 世田谷区的位置／2 武蔵野台地／
 - 3 世田谷の地形／4 世田谷の河川
 - II 世田谷の遺跡分布 11
 - 1 旧石器（先土器）時代／2 縄文時代／
 - 3 弥生時代～古墳時代初期／4 古墳時代／5 奈良・平安時代
 - III 最古の狩人たち（旧石器時代） 14
 - 1 自然環境／2 黒色土と関東ローム層／
 - 3 文化層・ブロック・礫群・配石など／
 - 4 石器の種類（器種）／5 世田谷の旧石器時代
 - IV 豊かな自然環境のもとで（縄文時代） 22
 - 1 草創期／2 早期／3 前期／4 中期／
 - 5 後期・晩期／6 土と石と木の道具
 - V 稲作技術の到来（弥生時代） 30
 - 1 弥生時代とは／
 - 2 世田谷の弥生時代
 - VI 古墳がつくられた時代（古墳時代） 36
 - 1 古墳の出現／2 野毛大塚古墳の時代／
 - 3 古墳時代のムラ／4 石室墳と横穴墓群の形成
 - VII 律令制下の集落と墓（奈良・平安時代） 46
 - 1 集落の姿／2 火葬墓／
 - 3 中世の胎動
- コラム 横穴墓に描かれた線刻画

第2章 武士の台頭 中世

- I 中世前期の世田谷 54
 - 1 中世社会のはじまり／2 謎の木田見氏／
 - 3 木田見郷の行方－「熊谷家文書」の世界－
 - II 関東吉良氏とその時代－中世後期－ 60
 - 1 南北朝～室町期の政治情勢／2 鎌倉府体制下の吉良氏／
 - 3 戦国期の政治情勢／4 北条氏と吉良氏
- コラム 北条幻庵覚書
- コラム 名残常盤記
- コラム 『梅花無尽蔵』にみる世田谷吉良氏

Ⅲ 中世びとの祈り 79

1 寺社／2 板碑

第3章 幕藩体制下の世田谷 近世

I 江戸幕府の成立と村落支配 84

1 徳川家康の関東入国／2 幕藩体制下の知行割／3 彦根藩世田谷領の成立／
4 喜多見氏の盛衰／5 旗本山本氏の農村支配／6 用水と川除

II 村人の生活 100

1 下掃除と野菜の出荷／2 改革組合村と鷹場制度／
3 村方騒動／4 庶民信仰／5 年中行事

Ⅲ 世田谷の文雅 125

1 世田谷ゆかりの文人／
2 世田谷の名勝

IV 幕末の動乱と明治維新 133

1 黒船来航／2 桜田門外の変／
3 吉田松陰と長州藩若林抱屋敷／4 世田谷の農兵隊／
5 幕府瓦解

第4章 近代世田谷の出発

I 近代国家の誕生（一八六八～一九一一年） 146

1 府藩県三治制から市制町村制へ／2 地租改正／
3 自由民権運動／4 農業技術の改良／
5 庶民教育学校の成立

II 近郊農村から住宅地へ（一九一〇年代～一九三〇年代初頭） 166

1 近郊農村の変容
2 世田谷の郊外開発

コラム 関東大震災と烏山寺町

3 世田谷区の成立

コラム 世田谷区の誕生と、地域アイデンティティのゆくえ

4 女性文化人の動き

Ⅲ 世田谷の戦争と平和（一九三〇年代～一九五〇年代前半） 182

1 昭和の戦争と地域社会／2 戦災と復興のはじまり／
3 復興期の区行政

コラム 東宝撮影所とゴジラ

第5章 住宅都市としての発展と未来の世田谷

I 高度成長からオイルショックのなかで（一九五〇年代後半～一九七〇年代前半） 194

1 戦後世田谷の変容

コラム ガスホルダー出現

2 戦後世田谷の女性たち／3 東京オリンピックと世田谷

コラム 鉄道輸送力の増強

4 深刻化する都市問題

コラム 郷土資料館の誕生

5 高度成長のかげりと世田谷

II ポスト高度成長から九〇万都市へ（一九七〇年代後半～二〇一〇年代） 210

1 区長公選の実現と新たな区政の展開／2 地価高騰と変容する世田谷／

3 失われる自然環境／4 自立都市世田谷をめざして／

5 安全安心まちづくり／6 高齢化・子ども施策／

7 一〇〇万都市世田谷に向かって

巻末資料

世田谷区域行政区画変遷表

世田谷区人口統計

世田谷区略年表

主要参考文献

執筆者一覧

協力先一覧